

令和5年度第1回愛南町入札監視委員会 審議概要

審議完了日	令和5年10月26日（木）	
出席委員氏名	委員長 木下 尚樹（愛媛大学大学院理工学研究科准教授） 委員 澤本 陽一（税理士） 委員 脇田 佳成（（株）愛媛建築住宅センター）	
審議対象期間	令和4年12月1日～令和5年6月30日	
抽出案件	総件数 4 件	（備考） 抽出の考え方 無作為に案件を抽出。（木下委員長が案件を抽出。）
一般競争入札	3 件	
指名競争入札	0 件	
随意契約	1 件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	質問・意見	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

別紙

意見・質問	回 答
<p>議題 1 平成 30～令和 4 年愛南町入札契約状況について</p> <p>・入札契約状況について工種別で分析しているが、その他に含まれている解体工事については落札率が低い傾向にあるため、単独で分析する必要があるのではないか。</p> <p>議題 2 抽出事業の審議について</p> <p>【抽出事業①】 ◇脇本公衆トイレ解体工事</p> <p>・随意契約にも関わらず、落札率が低いのはなぜか？</p> <p>・設計書の中に処分費の項目がないが、どこかに含まれているのか？</p>	<p>・次回委員会より解体工事を単独で分析する。</p> <p>・本工事は、老朽化した、公衆トイレを解体する工事である。2 者による見積入札を行い、予定価格 1,180,000 円に対し、最低入札価格が 960,000 円（落札率 81.4%）で落札している。落札率が低い要因としましては、競争原理が働いたこと。また、採用された業者は自社に中間処理施設を所有していることから、他社より安価で応札したものと推測する。</p> <p>・設計書中の運搬費の中に含まれている。</p>

【抽出事業②】

◇一本松交流促進センター屋根等改修工事ほか1件

・「一本松交流促進センター屋根等改修工事」は、今回設計金額が最も大きい事業となっている。落札率が低く、「低入」となっていることの説明を乞う。併せて「R4 愛南地区漁村整備工事（機械設備）」についても説明を乞う。

・「一本松交流促進センター屋根等改修工事」は、3者から入札があり、予定価格 44,600,000 円、調査基準価格 41,032,000 円に対して、最低入札価格 40,140,000 円で応札があり、低入札となっている。低入札に関する資料を審査した結果、本工事は外注の割合が大部分を占め、実績が多数ある業者からの見積提供により、実行予算の把握が容易であり、効率の良い施工管理と社員の人員が少ないことで人件費の削減による現場管理費及び一般管理費の削減が図れること、また下請予定の取引先は同種工事の実績が多数あり、同社との取引も良好で、信頼関係に基づいた詳細な見積もりにより直接工事費の削減に努め、経験豊富な技術者を配置するなど効率化を図るなど綿密な施工計画となっている。

また、過去にも低入札を数件行っているが、特に問題となった粗雑な工事はなく、地元業者として類似工事の施工実績も多数経験している。

以上のことから、本工事の施工については、十分な検討がなされており、問題なく施工可能であると判断した。

「R4 愛南地区漁村整備工事（機械設備）」は、2者から入札があり、予定価格 25,410,000 円、調査基準価格 22,869,000 円に対して、最低入札価格 22,615,000 円で応札があり、低入札となっている。低入札に関する資料を審査した結果、当業者は町内外において多くの同種工事の実績を有しており、また、協力業者や取引メーカーとの実績や労務確保及び資材調達が確保

<p>・低入札を行った業者に対する罰則はあるか？</p> <p>・低入札を審査した結果失格となった業者はいるか。</p> <p>【抽出事業③】</p> <p>◇御荘中学校駐車場解体工事</p> <p>・落札率が極端に低い事業である。</p> <p>・設計金額が高いため落札率が低くなると思われるが、予定価格の決定に工夫が必要ではないか？</p>	<p>できる体制となっている。併せて、事業所から施工場所までの距離が約 27 km となつてはいるが、町内であることから作業員の移動及び機器等の運搬等に特に支障はないこと、また、手持ち工事が 3 件あるが、資料で確認する限り、早期完了が見込まれることから、本工事に対する影響は少ないと考えられる。</p> <p>よって、これらのことから、本工事について問題なく履行できるものと判断した。</p> <p>・愛南町では低入札に対する罰則は設けていない。</p> <p>・過去 5 年間には該当業者はいない。</p> <p>・本工事は、駐車場にある老朽化した、鉄骨・スレート造りの構造物を解体する工事です。本工事は 2 者から入札があり、予定価格 2,430,000 円に対して、最低入札価格が 1,650,000 円（落札率 67.9%）で落札している。落札率が低い要因としましては、競争原理が働いたことが想定される。また、手持ち工事の関係から、手持機材を本工事に使用することができたことから、コストが抑えられたと聞き取りしている。</p> <p>・解体工事関係部署と連携をとりながら、適正価格での入札執行を行っていく。</p>
--	--

議題3 その他

- ・特になし